

○按ズルニ、此時未ダ越後ノ名ナシト雖モ、當時新郡ヲ置キタルハ、蓋シ後ノ越後ノ地ナラン、〔東大寺要録六〕造寺司牒三綱所

合奉宛封一千戸

越後國貳伯戸頸城郡膽君郷五十戸、賀茂郡殖栗郷五十戸、磐船郡山家郷五十戸、雜太郡播多郷五十戸、

以前、寺家雜用料、永配件封、當年所輸之物爲始奉宛如件、今以狀牒、牒到准狀、故牒、

天平勝寶四年十月廿五日

主典從七位上

○按ズルニ、賀茂雜太ノ二郡ハ、佐渡國ノ郡名ナレドモ、當時佐渡國ハ越後國ニ併セラレ居リシガ故ニ、本書ハ之ヲ以テ、越後國ト記シシナリ、

〔北越雪譜 二編一〕越後の城下

越後の國往古は出羽越中に距りし事、國史に見ゆ、今は七郡を以て一國とす、東に岩船郡古くは石に作る、海に蒲原郡新潟の瀨此西に魚沼郡海に北に三島郡海に荊羽郡海に南に頸城郡處海に近き古志郡海に遠し以上七郡也、

〔明治十四年 東京地學協會報告〕國郡沿革考第三回

塚本明毅

越後略中

戰國ノ時、三島郡ヲ改テ刈羽郡トナシ、沼垂郡ハ金津莊ト稱シテ、郡名自カラ廢シ、又古志郡ノ西方ヲ稱シテ、山東郡ト云フ、寛永十一年、松平越後守光長ニ賜フ所ノ領知目錄ニ、頸城魚沼二郡一圓、刈羽山東二郡内云々トアリ、寛文中、山東郡ヲ改テ三島郡トナシ、唱呼ハ舊刈羽郡ヲ沼垂郡トナス、既ニシテ沼垂ノ古境ニ非ザル事ヲ知リテ、再ビ刈羽郡ニ改メ、沼垂郡遂ニ廢セリ、

三島郡三郷、今皆刈羽郡トナル、三島荒濱柏崎多岐瀧谷村猶遺名ヲ存セリ、

略中